

愛知学院大学

Aichi-gakuin University

法学部

同窓会会報

Vol.67 2008.10.15

愛知学院大学日進学舎 時計塔

120周年記念のシンボルタワーは
「智・徳・体」「仏・法・僧」を表現。



CONTENTS

- 2・・・定期総会・懇親会開催報告
- 4・・・奨学生からのメッセージ
- 5・・・法学部の現況
- 6・・・秋田豊氏・比嘉公也氏を表彰
- 7・・・先生お元気ですか? (善家幸敏名誉教授)
- 8・・・同窓会活動インフォメーション
- 9・・・キャリアデザインと法学

- 10・・・地方同窓会の集い
- 11・・・OB・OG会合報告・浪川先生の受勲に寄せて
- 12・・・特別寄稿 (芦川豊彦名誉教授)
- 14・・・博士 (法学) 学位授与 (山野教授・服部教授)・
「愛学リーガル・クリニック」オープン
- 15・・・法律相談会・開放講座・公開講座・モーニングセミナー
- 16・・・同窓会ホームページのご案内

平成20年度 定期総会・懇親会 開催報告

大盛況の懇親会

6月21日(土)名古屋観光ホテルにおいて平成20年度定期総会が開催されました。

定期総会終了後、同ホテルにおいて小出忠孝学長はじめ多くの来賓の方々に出席いただき盛大な懇親会が開催されました。

会場は家族連れ・若いカップル・友人を伴った多くの方の出席で華やかな雰囲気でした。在校生の管弦楽団の見事な演奏あり、法学部卒業生のサッカー元日本代表選手秋田豊氏と2008年春の甲子園で沖縄尚学高等学校野球部を優勝に導いた比嘉公也監督からのビデオレター(6ページに関連記事)などもあり内容も盛りだくさんでした。



抽選会では沢山の商品があり番号発表のたび歓声があがっていました。



▲懇親会
▼管弦楽団の演奏

今回の景品

- | | | |
|----|------------------|------|
| 1等 | プラズマテレビ | 1本 |
| 2等 | ディナーショー | 2本 |
| 3等 | Wii(任天堂) | 4本 |
| 4等 | アップル「iPod」 | 8本 |
| 5等 | ナゴヤドーム(プライムツイン席) | 20本 |
| 6等 | デパート商品券 | 200本 |

総会報告

平成20年度定期総会は、鈴木厚司総務部長が議長を務め、下記の第1号議案から第5号議案までを提議し全ての議案が可決されました。

議 題

- | | |
|-----|------------|
| 第1号 | 平成19年度事業報告 |
| 第2号 | 平成19年度会計報告 |
| 第3号 | 監査報告 |
| 第4号 | 平成20年度事業計画 |
| 第5号 | 平成20年度予算案 |



当選おめでとうございます!



1等当選

平成20年卒業 三輪あす美さん

「びっくりしました」

1等という素晴らしい商品을いただき大変うれしく思います。卒業以来会っていなかった友人に会う事ができ、本当に楽しい同窓会でした。また参加したいと思いました。

3等当選 昭和56年卒業 一ノ瀬登さん

「Wii取ったどお〜!!」

同窓会場に娘からメールが届きました。「早く帰って来てね!一緒にマリオカート対戦するから早く。首を長くして待ってまーす。」帰路、重たいことも忘れ、点数急上昇。

4等当選 昭和51年卒業 青木善昭さん

「始めて当選しました」

卒業して32年経ちましたが2回目の同窓会への出席です。iPodが当たりましたが子供たちが一番欲しかった物なので大喜びです。また出席する気になりました。

今年当たらなかった あ・な・た!

来年は1等賞が 2等賞が あなたに当たるかもしれませんよ!!

来年は大学で行われます! ぜひ出席してください!

来年度の総会・懇親会は

**平成21年6月に
愛知学院大学 日進学舎で
開催予定です。**

※総会案内は21年6月初旬にお送りします。

恩師との再会を楽しみに...

同級生との再会を楽しみに...

いやいや大抽選会を楽しみに???

是非、ご家族でご参加下さい!!

収支計算書

愛知学院大学法学部同窓会

自 平成19年4月1日
至 平成20年3月31日

(単位:円)

科 目	平成19年度予算	平成19年度決算	増	減
I 収入の部				
前年度繰越金	205,807,319	205,807,319	0	
同窓会入会金・会費	18,540,000	18,340,000	-	200,000
大学院会費	1,150,000	1,090,000	-	60,000
受取利息	50,000	671,785		621,785
雑収入	100,000	125,000		25,000
合 計	225,647,319	226,034,104		386,785
II 支出の部				
連絡協議会会費	300,000	300,000		0
総会費	3,500,000	3,463,876	-	36,124
会議費	910,000	896,092	-	13,908
奨学金	1,440,000	960,000	-	480,000
助成金	2,000,000	1,380,721	-	619,279
印刷費	1,950,000	1,825,924	-	124,076
通信費	1,400,000	1,309,700	-	90,300
人件費	3,620,000	3,357,946	-	262,054
旅費交通費	2,000,000	1,464,428	-	535,572
消耗品費	300,000	161,579	-	138,421
慶弔費	100,000	85,490	-	14,510
備品費・リース料	300,000	155,887	-	144,013
在学生育英費	850,000	747,456	-	102,544
名簿管理費	700,000	238,439	-	461,561
雑費	40,000	24,622	-	15,378
予備費	100,000	0	-	100,000
合 計	19,510,000	16,372,260	-	3,137,740
次年度繰越金	206,137,319	209,661,844		3,524,525

第4号 平成20年度事業計画

国際社会においては、求められる世界的テロ対策、地域紛争の平和的な解決、核や環境問題など全人類的な多くの課題を抱えています。経済活動や市民生活が地球規模に広がりとつづけるなか、私たちは、遠い世界の問題としてではなく、これらを自らの問題として考えなければなりません。

国内に目を向けてみると、情報化、国際化が一層進展し、格差の拡大、本格的な、少子高齢社会が到来するなかで、人々の意識や生活の多様化、個性化が進むなど、政治・経済・社会のあらゆる場面で、変化の潮流が生じております。このような情勢のなか、母校とともに歩む法学部同窓会は、人類の福祉と文化の進展に貢献するための積極的な活動がますます重要となってまいりました。

そこで、今年度は、次のような諸事業を行ってまいります。

1. 母校および他同窓会との連携を図る事業
 - ・連絡協議会活動
 - ・他同窓会活動への参加
 - ・在学生への援助・支援(奨学金給付、OB講座等)
2. 同窓生相互の親睦を図る事業
 - ・定期総会の開催
 - ・年1回の会報の発行
 - ・地方同窓会および支部活動への支援
 - ・同窓生相互の親睦への支援
3. その他
 - ・地域での法律相談の開催
 - ・同窓生への災害時支援

第5号 平成20年度予算

愛知学院大学法学部同窓会

(単位:円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金	209,661,844	連絡協議会費	300,000
学部入会金・会費	21,220,000	総会費	5,500,000
大学院会費	1,200,000	会議費	1,070,000
受取利息	500,000	奨学金	1,440,000
雑収入	150,000	助成金	2,000,000
		印刷費	2,070,000
		通信費	1,450,000
		人件費	3,620,000
		旅費交通費	2,000,000
		消耗品費	300,000
		慶弔費	100,000
		備品費	600,000
		在学生育英費	500,000
		名簿管理費	650,000
		創立50周年記念事業費	50,000
		雑費	40,000
		予備費	100,000
		小 計	21,790,000
		次年度繰越金	210,941,844
合 計	232,731,844	合 計	232,731,844

本年度法学部奨学生からのメッセージ

平成20年6月21日の同窓会総会後の懇親会席上で、平成20年度法学部同窓会の奨学金給付が行われました。奨学生は、在學生と大学院生から公募され、選考された奨学生に対して、同窓会から奨学金（年額24万円）が給付されました。



法務研究科2年 青石樹

この度は、法学部同窓会奨学生に選定していただき、誠に有難うございます。

多くの学生・院生の中から採用していただいたことを重く受け止め、この度の奨学金を有意義に、大切にに使わせていただきたいと思います。

春学期も半ばを過ぎ、担当教授の熱心な御指導のもと、日々の勉学に励んでおりますが、今後は奨学生の名に恥じぬよう、より一層勉学に励んでまいりたいと思います。



法務研究科2年 山下桃代

平成20年度奨学生に選んでいただき、ありがとうございます。大勢の応募者の中から選ばれて、とても嬉しく、光栄に思います。

私の目標はやはり、司法試験合格であり、その大きな目標に向けての学力向上です。貴会からいただいた奨学金は、そのための参考書の購入等、有効に使わせていただきたいと思います。

今回奨学生に選ばれたことを誇りに、今後も精一杯努力していきます。



法学研究科1年 服部倫久

この度、本年度法学部同窓会の奨学金を受け取ることになりましたことに深く感謝いたします。私は、高校時代に会計事務所のアルバイトをしたことがきっかけで税理士を目指しています。本学は、税法に関連する講義が多いため同じ志を持った仲間も多く、幅広い人間関係を築くことができました。その中で奨学生としての名に恥じぬよう勉強・研究に励みたいと思います。本当にありがとうございました。



法律学科3年 鈴木将幸

この度は、法学部同窓会奨学生に選考して頂き、誠にありがとうございます。私自身、選考されると思っていなかったもので、通達があった時は本当に驚きました。今の心境としましては、感謝の気持ちとプレッシャーを感じます。多くの人の支えがあったからこそ、今回の奨学生に選ばれたと思います。また、選考されたということは、それだけ期待されていると思いますので、今後の大学生活も精一杯頑張ります。



法律学科2年 駒澤将太

このたびは法学部同窓会奨学生として採用して頂き本当にありがとうございます。正直に申し上げて、多くの応募者の中から私が採用されるなんて夢にも思いませんでした。しかし、私が採用されたということは残念ながら不採用になってしまった人もいたということです。私はそのことを忘れずに、彼らに笑われることの無いよういっそう勉学に励んでいきたいと思っています。

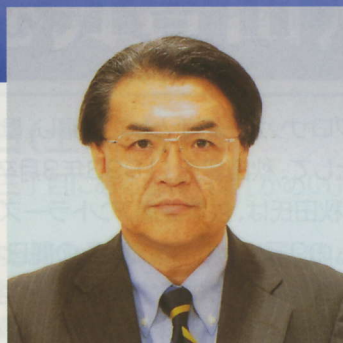


法律学科2年 片岡裕輔

この度、奨学生に選んでいただき、誠に有難うございます。感謝の気持ちで一杯です。

私はこの一年間法律を学び、その難しさ、そして楽しさを身をもって実感しました。法律の一つ一つには様々な解釈が存在し、その中で自分がそれをどう捉えるかという授業は高校までの受動的なやり方とは異なり、とても新鮮で、法律を知れば知るほど、私はその魅力に惹きつけられ、それに比例して、学習意欲もますます高まりました。奨学金をいただくことができたのも、毎回熱い授業をして下さった先生方のおかげです。まだまだ知識や理解力は未熟ですが、これからも先生方の授業を通してより多くの知識や法を解釈する力を養っていきたいと考えています。移行行く時代の中で、社会に対して法とはどうあるべきかを常に考え、勉学に励む所存です。本当に有難うございました。

法学部の現況



法学部長 山野嘉朗

同窓生の皆様に法学部の現況をお知らせします。

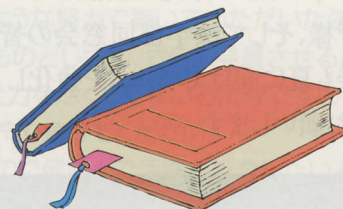
現在、法学部には法律学科(募集定員220人)と現代社会法学科(募集定員125人)の2学科があります。面白いもので、両学科の学生には、明らかにタイプの違いが見られます。法律学科の学生はまじめで、まとまっている感じを受けますが、現代社会法学科では元気で面白い学生が目立ちます。本年度は法律学科に334名、現代社会法学科に193名と、定員を遙かに上回る学生が入学しました。受験生募集に苦勞する中、ありがたいことである反面、授業コマ数の増加という形で、先生方にご迷惑をおかけすることになりました。しかし、法学部のスタッフ全員、嫌な顔もしないで、この事態に対処してくれました。

お陰様で、平成20年3月の法学部卒業生の就職率は98%に達しました。公務員試験には51名(国家公務員4名、地方公務員47名)が合格しました。国家公務員の内訳は、国家公務員Ⅱ種が2名、国税専門官が1名、自衛隊幹部候補生が1名です。地方公務員は愛知県や尾張旭市をはじめとする地方自治体の行政職が5名、東京消防庁等の消防官が8名、愛知県警や警視庁等の警察官が34名です。他学部からも警察官になった卒業生は出ていますが、法学部が圧倒的多数を占めています。なお、金融機関へは、三菱東京UFJ銀行や三井住友銀行のような大手銀行を含め、36名が就職しました。

教員スタッフにつきましては、客員教授の先生を除くと平均年齢は45.6歳で、まさにフレッシュな顔ぶれとなっています。現在、女性教員は2名おりますが、来年はさらに一人加わる予定です。本学の他の社会科学系学部には専任の女性教員が存在しませんので、法学部は、その点で先進的と言えましょう。若い先生方は、皆、研究・教育ともに熱心です。法学部には学生相談室が設けられていますが、同相談室のみならず、小会議室も利用して、連日、学生の質問・相談を受けています。また、廊下や事務室では教育談義に花が咲くことも希ではありません。とてもさわやかな風が6号館5階を吹き抜けています。

朝早くから夜遅くまで、そして土日にも研究室で仕事をする先生が増えてきました。われわれベテランも負けてはいられません。法学部教授会の雰囲気も良好で、学部長として大変ありがたいと思っています。

少子化の時代を迎え、学生募集・大学教育の面で、困難な問題が山積していますが、ベテラン教員と若手教員、一致団結して、より良い法学部にしていきたいと考えておりますので、同窓生の皆様の一層のご支援・ご協力をお願いしたいと思います。



秋田豊氏を表彰

長年プロサッカー選手として活躍し、母校とわが法学部同窓会の名誉を高めたとして、秋田豊氏（1993年3月卒業）に表彰状と金一封を贈呈しました。秋田氏は、長年鹿島アントラーズで「不動のセンターバック」としてチームの9冠に大きく貢献。その間日本代表にも選抜され1998年フランス大会や2005年日韓共催大会の2回のワールドカップにも選ばれました。その後、名古屋グランパスエイトや京都サンガFCで活躍。2007年12月に現役を引退し、現在は京都サンガFCでコーチとして活躍しています。



秋田豊氏メッセージ

1993年卒業の秋田豊です。

今回は表彰していただきありがとうございます。とても光栄に思っています。

愛知学院大学で様々なトレーニングを積んだ経験はこれまでのサッカー人生に生きています。また、サッカーだけでなく学問や友人との交流を通じて色々なことを学ぶことができ、今の自分がいると思います。

機会があればまた大学を訪問したいと思います。どんなことでもいいので呼んでください。

これからも頑張りますので、よろしくお願いします。

比嘉公也氏を表彰



比嘉公也氏（2004年3月卒業）が監督を務める沖縄尚学高等学校野球部は、2008年春の第80回記念選抜高等学校野球大会にて優勝しました。監督として頂点に立ち、母校とわが法学部同窓会の名誉を高めたとして、表彰状と硬式野球試合球108個を贈呈しました。比嘉氏は、1999年春に沖縄尚学高等学校が沖縄県勢初の甲子園優勝を果たしたときのエース投手であり、準決勝でのPL学園高校戦で延長12回212球の投球での勝利は印象に残ります。

比嘉公也氏メッセージ

愛知学院大学法学部同窓会の皆様、沖縄尚学高等学校野球部監督の比嘉公也です。

第80回選抜大会において、優勝することができました。そして今回このように表彰していただきありがとうございます。

私が今こうして沖縄で頑張っているのも、小出学院長はじめ愛知学院大学法学部の諸先生方、野球部の関係の皆様、そして法学部同窓会の皆様のおかげと、心から感謝しています。

今後も夏に向けてチームを強化し、また皆様の期待に応えられるよう努力してまいりたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

シリーズ
**先生お元気
ですか？**

「一期一会」の積み重ねで今がある

善家 幸敏 名誉教授 (1957～2003年在職 法哲学担当)

1957年の法学部創設から退職の2003年3月まで、約半世紀にわたる法学部の歩みと帰を一にする、先達教授の一人である善家幸敏名誉教授。先生は多年、大学の教育・行政の各種要職を歴任し、座右の銘とする「旗幟鮮明」をモットーに、率先躬行して事態の処理にあたり、名リーダー振りを遺憾なく発揮し、学内にその名を馳せる名物教授となられた。退職されて既に5年、悠々自適の日々を送る先生のご自宅を訪問し、在職当時の思い出を語っていただいた。

略歴

1925年8月1日生(83歳)

1957年 法学部講師(赴任は4年目から)、1972年 法学部長(代行を含め4年7ヶ月)、1977年 宗教法制研究所所長(2期8年間)、1977年 学生委員会委員長(約10年間)、1987年 学生部長(2期4年間)、1995年 大学院法学研究科科長(3年間)、2003年3月退職、2005年 瑞宝中綬章受賞

著書に「日本における宗教と政治」(成文堂)、「国家と宗教」(成文堂)、「法の根本問題」(成文堂)、「法学概論」(成文堂)、「法思想史概論」(成文堂)、他多数

教師としてのプロフィールと 学部長4年間での出来事

門扉から玄関までの階段アプローチに、アーチ状の薔薇の木が連なる。満開の花の季節にはさぞかし、この閑静な住宅街を行き交う人々の目を奪い、足を停めるであろうと推測しながら、長い階段のある善家先生のお住まいを振り仰いだ。

この8月に83歳を迎えた先生。ソファに腰を掛け、背筋を伸ばした姿に、教職にあった頃の謹厳実直な面影を髣髴とする。早稲田大学大学院時代の恩師・斉藤金作先生に叱咤激励され、東京に後ろ髪を惹かれる思いを持ちながら、愛知学院大学に赴任したことを「瓢箪から出た駒の教師」と笑いながら話される。当時の先生は「絵画」「文学」「音楽」「演劇」「古陶磁」等に心酔していたが、この5部門に目隠しをし、馬車馬の如く教職の道に専念することを決意する。但し、時として法哲学から脱線した昔とった杵柄的部門の講義が好評を博し、卒業生の語り草となった。就中、古陶磁については造詣が深く、その見事なコレクションは個人で展覧会を開くほどの名品揃いのようである。

先生の4年有余の法学部長時代に、特に記憶に残る3つのエピソードを紹介してもらった。その1は、派閥抗争からリンチ事件が発生し、止むをえず、機動隊を導入したことである。学校からの呼び出しで、大学に到着した1971年11月21日24時、正門前に機動隊がものものしく勢揃いし、学友会の代表と共に強制捜査に立ち会う。その時の情景が今でもなお脳裏に閃いてくるとのこと。

その2は、1973年と1974年の2年間、5月3日の憲法記念日に「法の日」に因んで、愛知県内5大学(名古屋大学、愛知大学、名城大学、愛知学院大学、中京大学)の法学部学生が対抗して行う「法律討論会」で、2年連続優勝の快挙を成し遂げたことである。皆が勢揃いし欣喜雀躍して勝利の旨酒を酌み交わし、快哉を叫

んだ。但し、2回のみで中止され、唯伝承される語り種となってしまったことが残念である。

その3は、1977年法学部関係者にとって永年の念願であった「司法試験合格者」を2名輩出したことである。とりわけ、自らの研究室を試験勉強のために提供した教え子、法学部13回生の村田武茂君が最終合格者465名中の79番という頗る優秀な成績で、この難関を突破したことは教師として何にも優る喜びであった。

「牛の歩み」の人生

大学人として唯教壇上での教育だけではなく、クラブ活動の充実に専念し、多くのクラブの部長・顧問を務め、文字通り多士済済の学生と深交を結びえた。即ち剣道部、アイスホッケー部、応援部、日本拳法部、ボクシング部、舞踏研究会などの運動部から蒼法会、古美術部、マーキュリー・サンダース等のエレキバンドの文化部まで、極めて多岐にわたる。現在でも多くの卒業生が家に訪れ、旧交を暖めているが、感謝の念一入で、教師冥利に尽きるといえよう。

人生の指針を示し諭された恩師や、蘊奥を極めた大先達との出逢い、人生を思い出多く多彩に彩った教え子との出逢い、さらには教養を身に付け、美意識を高め、人生を豊かにする文学・絵画・古陶磁などとの出遭いがあったからこそ、無限の可能性を秘めた「現在の今」がある。まさしく我が人生は、いい星の下に生まれたとの自負の下に「一期一会」の積み重ねで歩んで来た道に過ぎないと、振り返る。闘牛で有名な愛媛県宇和島市出身の丑年生まれに因んで「牛の歩み」の人生であるといい、なお笑みを浮かべて、己の80有余年の生きざまを「南予の牛」と題して随筆にまとめるべく、構想中であるとのこと。完成を楽しみに待ちたい。

先生の一日は、薔薇の手入れから始まる。夜が白む明け方の5時には庭に出て、2時間余りの丹精込めた薔薇との語らい。道行く人からの薔薇への讃辞に「花愛でる翁」としてのえも言われぬ快感に浸っているとのこと。

終わりに、先生曰く「最終講義で述べたことの繰り返しになるが『愛知学院の教師で善かった』との気持ちを常に念頭に置いて、骨董三昧に浸りながら生きながらえる心算である」と。



41回目の結婚記念日(H20.6.20)に奥様と一緒に撮影

法学部同窓会活動インフォメーション

法学部同窓会 部局別事業計画

法学部同窓会では、理事会・常任理事会等会議と各部の部会が随時行われています。
平成20年度におきましても、事業計画を円滑に推進し、さらに同窓会が発展していくよう活動していく予定です。

総務部

- 同窓会の今後のあり方の検討
- 将来計画等の検討
- 法学部同窓会ホームページの管理

出版部

- 同窓会会報67号発行
- 法学部卒業生向けメッセージパンフ発行
- 同窓会アドレスの充実・整備

企画部

- 総会のありかたについて検討
- 平成21年度定期総会に向けて準備

財務部

- 予算・決算、予算決算の方法について検討
- 資産の効率的・安全的運用について検討

学術育英部

- 在学生育英表彰 ●OB 講座の実施
- 新入生への助成・大学院法研会、学術書出版者への助成
- 同窓会奨学生の決定
- 無料法律相談の実施

組織部

- 地方同窓会および各支部との連絡調整
- OB・OG 会への助成
- 大学「後援会支部懇談会」と地方同窓会の連携
- 地方同窓会・支部同窓会への出席

監査会

- 会計監査の実施

連絡協議会

- 大学との連携、商経会、文学部・心身科学部同窓会、歯学部同窓会、情報社会政策学部同窓会との連携

法学部同窓会 事務局からのお知らせ

皆様のお名前・住所・勤務先・電話番号等変更の場合は、
ハガキ・FAX・メールで法学部同窓会事務局へご連絡ください。

あなたの力を貸してください。同窓会活動に参加してみませんか!!
同窓会活動はボランティアで成り立っています。
いま、同窓会役員を募集しています。
詳しい応募の方法は同窓会事務局にお問い合わせください。

個人情報の取り扱いについて

個人情報保護法の施行に伴い、法学部同窓会として同窓生各位の個人情報の取り扱いを以下のようにします。

○同窓会事務室への電話等の問い合わせについて………

同窓生の住所・電話番号・ゼミ名等の一切の個人情報は、理由の有無等とは関係なくお答えしません。

○同窓生名簿(ラベル)の打ち出しについて………理由の有無等とは関係なく、一切お出ししません。

個人情報保護法の趣旨に則り、同窓生の個人情報については慎重かつ適切に処理してまいりますので、皆様のご理解の程をお願い致します。

事務局業務時間について

月～木/9:00～16:00 金曜日/10:00～15:00 土日祝日はお休みです

法学部同窓会事務局

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12
電話0561-73-1111(内線 2303)

OB講座 キャリアデザインと法学

法学部同窓会が協賛して現役学生に講義する愛知学院大学法学部同窓会OB講座「キャリアデザインと法学」が今年度も開設され、学生から大好評でした。

平成20年度において講義していただいたOB（敬称略）

講義日	テーマ	OB講師	卒年	
4月23日	税理士とは	寺本 充	S63	寺本充税理士事務所
4月30日	企業の成長と投資ファンドの役割	間山 陽子	H9	日興アントファクトリー(株) 機関投資課営業・IRチームマネージャー
5月 7日	住宅の営業という仕事	福田一夫	S55	積水ハウス(株) 名古屋支店長
5月14日	バラエティー番組の制作とイマドキの芸人 ～芸人が芸人を辞めない理由～	小林 純子	H13	東海テレビプロダクション制作部
5月21日	教師という仕事 ～教師という仕事から見た社会～	山原 康治	S63	学校法人大阪学園大阪高等学校
5月28日	外資系金融の仕事	渚 久人	S59	ドイツ証券会社グローバル・キャピタル・ マーケット本部ディレクター
6月 4日	警察の仕事について ～現在と学生時代の考え方～	杉山 弘晃 高瀬 雅己	H17 S56	愛知県警察
6月11日	ホテルについて～サービス業とは～	兼松 史勝	S47	名古屋観光ホテル取締役・副総支配人
6月18日	弁護士の職業について	鈴木 健治	S45	鈴木健治法律事務所
6月25日	チャレンジ精神について	吉田 宏美	H14	中部日本放送レポーター
7月 2日	就職活動に向けてのマナー・心構え	河村 裕	S56	名古屋三越ギフト営業部
7月 9日	社会保険労務士業務について ～給与明細から見た社会保障～	根本 共和	S57	根本労務管理事務所

キャリアデザインと法学とは???

講座の名称について

「キャリア」には、人生設計、職業と就職への心構え、という意味を持たせています。「デザイン」には、学生諸君が、自己の職業と人生の関係を、自分で責任をもって考えてほしいというメッセージをこめています。

「法学」には、そのために自分は、愛知学院大学の法学部でどのような勉強や課外活動や生活をしなければならないかを、考えてもらいたいという気持ちをこめています。その3つをあわせて、「キャリアデザインと法学」という訳です。



講座の目的

今日の社会は急速に変容しており、3万種ともいわれる職業の種類においても、仕事内容においても、めまぐるしく激変しているのが実情です。

そこで学生達は、どこの大学においても、自分がどのような職業に向いているのかを判断する材料を獲得するのが、非常に困難になっています。

結果的には、全国のどこの大学においても、就職はしたがすぐにやめざるをえないとか、就職活動が熱心にできないなどという、傾向が現れています。

愛知学院大学法学部と法学部同窓会は、このような事態に対処するために、現代社会での職業のありかたと、それを担う先輩たちの姿を、学生諸君が大学の授業の中で見る必要があると判断しました。

先輩たちの社会での活動に触れるなかで、学生達には、自己の将来を深く考えてもらいたいと考えています。

授業の内容

授業は、合計12回行います。講師は、法学部卒業のOBが行い、毎週違った講師が登場し、自分の職業と法学の関係を語ります。職業は、公務員、製造業、サービス業など、多岐にわたり幅広い分野で講義が行われます。

地方同窓会の集い

同窓会は、名古屋地区で行われる総会・懇親会のほか、地方においても地方同窓会が活動しています。

地方同窓会は、平成18年度から会員制の同窓会となりました。各地方同窓会を包括する都道府県に在住（住民登録の住所）または勤務の方で会員制の要領などをご存知でない方は、各地方同窓会事務局へお問い合わせください。

関西同窓会

- 事務所所在地：〒586-0024 大阪府河内長野市西之山町1-15-302 愛知学院大学関西同窓会 事務局
原 真澄「事務局長」方 TEL 186-0721-22-5711
- 代表幹事：鷹羽 浄武
〒614-8332 京都府八幡市橋本新石27-1 TEL 075-971-9116
- 同窓会PR：私たち、愛知学院大学関西同窓会は、肩の凝らない、楽しい会を合言葉に一人でも多くの同窓生に参加して頂く為、親睦の輪を広げるよう運営して居ります。多くの同窓生の会の活動への参加をお待ちしています。
- 懇親会開催日：平成20年8月31日（日）ホテルグランヴィア大阪

山陰同窓会

- 事務所所在地：〒690-0015 鳥根県松江市上乃木7-5-41 愛知学院大学山陰同窓会 事務局
坂井 圭輔 TEL 0852-23-9838
- 代表幹事：中垣 初男
〒683-0004 鳥取県米子市上福原1320-30 TEL 0859-32-3778
- 同窓会PR：山陰同窓会は、鳥取県と島根県に在住する卒業生で構成し、名簿上では600名程の方が登録されています。山陰両県は東西300kmと長い為、皆さんが参加しやすいよう代表・事務局・懇親会開催地を鳥取県と島根県が、随時交代しています。今年の定期懇親会は島根県松江市で開催しました。来年は、鳥取県米子市です。大勢のご参加をお待ちしています。
- 懇親会開催日：平成20年9月27日（土）松江東急イン

広島同窓会

- 事務所所在地：〒731-5125 広島県広島市佐伯区五日市駅前1-4-5-705 愛知学院大学広島同窓会 事務局
川端 康嗣 TEL 082-921-3816
- 代表幹事：伊藤 友喜
〒739-1742 広島県広島市安佐北区亀崎4-19-4 TEL 082-843-9264
- 同窓会PR：広島同窓会の定期懇親会の特徴は、幅広い年代の卒業生の参加と、ご夫婦やご家族での参加者も多く「和やかな懇親会」が定着してきていることです。また、年に一度の定期懇親会だけでなく出来るだけ親睦の機会を増やそうと、毎年東部地区親睦会を開催し、また、お花見や暑気払いなど親睦の機会を増やしています。尚、事業活動につきましては広島同窓会のホームページをご覧ください。 <http://www6.enjoy.ne.jp/~t.kawabata>
- 懇親会開催日：平成20年11月22日（土）ホテルグランヴィア広島

関東同窓会

- 事務所所在地：〒234-0052 神奈川県横浜市港南区笹下6-24-23 愛知学院大学関東同窓会 事務局
鈴木 克己 TEL 045-844-9684
- 代表幹事：山田 照夫
〒233-0015 神奈川県横浜市港南区日限山2-20-16 TEL 045-841-4850
- 同窓会PR：関東同窓会は、同窓会発祥の地・銀座有楽町に拘り続けたいと考えております。銀座4丁目の他、有楽町駅前一帯を含め、同窓会創設時の合言葉「有楽町で逢いましょう」と歌にも慕われた当時の街並みは、面影を残しつつも大きく変革を遂げております。会員制の同窓会も再度会員を募集して一回り、二回り大きく、もっともっと老若男女の混在する会へと変革を遂げたいと考えております。
- 懇親会開催日：平成20年11月15日（土）三笠會館本店

四国同窓会

- 事務所所在地：〒769-0104 香川県高松市国分寺町新名1431-14 愛知学院大学四国同窓会 事務局
蓮井 美知雄 TEL 087-874-8520
- 代表幹事：中野 清治
〒769-2101 香川県さぬき市支度1054番地 TEL 087-894-1270 FAX 087-894-4488
- 同窓会PR：私たちの、四国同窓会も早15周年を数えます。昭和54年秋に「香川県人会」は発足以来、香川県のみならず近県に波及することとなり四国四県規模の同窓会となりました。四国同窓会は、会場を毎年移していますが、今回も学院卒業生先輩の会場での開催となります。前回は、海での、今回は市内（20年7月オープン）での熱い語らいを楽しみにしています。
- 懇親会開催日：平成20年11月15日（土）Beruang（プルワン）

岐阜県同窓会

- 事務所所在地：〒501-0554 岐阜県揖斐郡大野町五之里516-1 愛知学院大学岐阜県同窓会 事務局
野々村 武志（㈱トーカイフーズ内）
TEL 0585-34-3555 FAX 0585-34-3571
- 総会開催日：平成20年11月8日（土）17時30分から ホテル十八楼

OB・OG会合 開催報告

「OB・OG会合」とは法学部同窓会会員が5人以上籍をおく、会またはグループで、法学部同窓会長が「OB・OG会」として認めたもので、法学部卒業生がゼミナール・卒業学年・クラブ・サークル・職場・在住地域で交流する会またはグループが会合をもったとき、出席者1名につき、2千円を助成します。（限度額があります。詳しくは同窓会事務局へお問い合わせ下さい。）

伊藤ゼミOB会・伊藤ゼミOB会新年会／平成20年1月5日(土)



平成20年1月5日(土)名古屋市中区丸の内三丁目にある創作料理「かめい」にて伊藤ゼミOB会新年会が行われました。

今回で27回目となる今年は、残念なことから始まりました。待ち合わせ時間になっても来ない同期生「鈴木清文」君を待っていた昭和57年卒業生達。本人の携帯に電話したところ、お父様が出られて、元旦に初日の出を豊橋の山で拝んだ後、ふもとの茶店で休憩中に亡くなったとのこと。当日が告別式だったということがわかり、彼等はそのまま鈴木村君宅に向かい不参加。新年会も、彼への黙祷から始まる異例の会となりました。

伊藤英樹教授からは「これからも悲しみを乗り越えながら自分達の進むべき道をしっかり歩んで行くように」という旨の話があり、故人を偲びつつ皆で語り合いながら友好を深めました。

翌日は、皆で武豊にある鈴木君の自宅へ訪問。在りし日の写真に手を合わせて改めてご冥福を祈って参りました。

鈴木 厚司 (S56年卒)

愛知学院大学ゴルフ部OB会・創部50周年記念パーティー／平成20年3月8日(土)

愛知学院大学ゴルフ部はこの度創部50周年を迎え、平成20年3月8日・名古屋国際ホテルに於いて、来賓の安井信之様、田口豊太郎様、橋元幸次様、十代田光俊名商大ゴルフ部部長、杉山和淑徳大学ゴルフ部部長、中日スポーツ記者山本太郎様始め学院長小出忠孝先生、北条弘先生、芝隆史先生、岩城剛先生、加藤勇夫教務部長、加藤勇法学部同窓会会長、坂井邦雄ゴルフ部部長、大塚隆寛副部長の先生はじめ学院関係の方々、法学部同窓会20名の出席の他総参加者130余人により盛大に祝賀パーティーを開催いたしました。学院長及び来賓の方々より祝辞を頂き、又、東北福祉大学より献花があり各参加者が互いに懇親を深めることができ有意義の内に閉会となりました。北村 忠和 (S42年卒)



浪川正己先生の受勲に寄せて

法学部長 山野嘉朗



浪川正己先生

平成20年春に、浪川正己先生が瑞宝中綬章を受勲されました。同勲章は、「公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げた人」が対象とされておりますが、受勲者は主として私立大学学長、国立大学名誉教授、県副知事等、高い地位にある方々ばかりです。先生の大学教育を中心とした社会的貢献がどれだけ高く評価されているか理解

できましょう。法学部を代表して心よりお喜び申し上げます。

先生は、昭和32年4月1日の法学部開設に伴い、専任講師として本学部に着任されて以来、約半世紀の永きにわたり、教育と研究の充実に多大の貢献をされました。教育面では、多数の教え子たちが、企業の幹部、教育者、税理士等として社会で活躍しているのは周知のとおりです。研究面では、会社法や手形小切手法の研究に力を注がれ、多数の著書等を

発表されましたが、中でも、平成11年に公刊された『オーストラリア会社法の研究』（成文堂）は学界の注目を浴びました。同書に対しては、翌年、本学より博士号が授与されました。大学行政面では、計6年間、法学部長を務められたばかりか、さらに計10年間、就職部長として学生の就職のため尽力されました。これらに加え、本大学ワンダーフォーゲル部の部長や硬式野球部の部長・監督としても大活躍された上に、現在もなお、(財)全日本大学野球連盟の常任理事として職務を全うされています。

以上のような、並の大学教員ではおよそ達成できないような多方面での驚異的な活躍が総合的に評価され、叙勲に至ったものと推察しております。

先生の血のにじむような努力で築いていただいた法学部の基礎をより強固なものとしつつ、さらに発展させるため、法学部スタッフ一同全力を尽くしてまいる所存ですので、どうか今後とも温かく見守り続けてください。

先生の今後の益々のご健勝とご活躍を祈念したいと存じます。

昔を振り返る

特別寄稿

愛知学院大学名誉教授

芦川 豊彦



「同窓会20年のあゆみ」にもあるとおり、本学法学部の場合、他学部には見られないことであるが、学院長・学長が法学部長を兼任しているケースが何回かある。法学部開設以来の学部長のメンバーは「20年のあゆみ」によると次の通りである。

法学部長	就任年月日
小出有三学長	昭和32年4月1日
板橋郁夫教授	昭和40年4月1日
竹田鐵仙学長	昭和42年3月17日
木村健助教授	昭和42年10月1日
芦川豊彦教授	昭和44年4月1日
善家幸敏助教授	昭和47年2月1日(法学部長事務取扱)
善家幸敏教授	昭和47年10月1日
竹田鐵仙学長	昭和51年11月1日
浪川正巳教授	昭和52年4月1日
芦川豊彦教授	昭和56年4月1日

設置認可当時、小出有三学院長・愛知学院大学学長が、また、昭和42年3月17日から昭和51年11月1日との2回を、竹田鐵仙学院長・愛知学院大学学長が、それぞれ法学部長に就任している。

最初の竹田法学部長は、時の法学部長が突然、辞任・退職したが、学年度末でもあり急遽その空白を埋めるのに、就任されたものである。当時、法学部内にはかなりの動揺があった。兼任教授からの当時の執行部への励ましの書簡が数通あり、現在も手元にある。

2回目の竹田法学部長の時も、学部長選出をめくりいざこざがあり、一時、学院長・学長が法学部長を兼任することになった。筆者が、昭和44年学部長に任命された当時の役職者の任命は、大学(理事会)の完全任命制であった。今日では学部の自主性がほぼ認められ、法学部では法学部教授会が投票で選出した者が任命されてきている。しかし、2度目の竹田法学部長の時も、まだ、そのような慣行が完成しておらず、法学部会の選出した候補者を理事会が任命せず、法学部会の議事録(昭和52年3月3日)にもあるが、法学部会としての声明文が出された。

法学部長人事に関連してはもう一つ法学部長事務取扱(昭和47年2月1日から同年9月30日)がある。筆者は昭和44年4月1日で法学部長に任命され、昭和47年1月31日付、健康上の理由で辞任したが、その後任として、当時教務主任であった善家先生が学部長事務取扱に就任された。

筆者は昭和40年4月から、すでに教務主任をやっていたが、学部長の突然の辞任・退職。その後任の竹田学部長、木村健助学部長の下でも、引き続き教務主任を務めていた。木村法学部長は高令でしかも健康上の理由もありその上、京都から通われていたにもか

わらず、実に誠実に職務をこなしておられた。しかし、隔週にしか来学されず、その為、学部長会議のあるときも、どんなに会議がながびいても、教務主任としてはその日のうちに内容を聞いておく必要があり(木村先生は逐一話をしてくれた。)会議の終了をまつことになり、会議終了後、お帰りが遅くならないよう、時には名古屋駅までお供をして話を聞くなどせざるをえない場合も度々あった。木村法学部長のあと筆者が後任として学部長に任命されたが、当時筆者は40歳。他の部長(商学・成実、歯学・岡本、教養・山田)はすべて高齢の有名教授。当時



国会では、「大学の運営に関する特別措置法」が審議され、ジュリストなども、大学の自治に関する特集を繰り返し掲載していた。社会では、東大の安田講堂占拠事件、早稲田の大隈講堂事件、そして、加藤一郎東大代学長代行が明治神宮外苑で全学連・全共闘と大衆団交を開いたことなどは当時、大きく報道された。その影響が愛知学院大学にも及んでいた時期であった。楠元学舎の校庭では、外人部隊が中心らしいとのことであったが、赤ヘル、黒ヘル、タオルで覆面して一列に並んだ集団によるデモ行進、シュプレヒコール。そしてたった一日のことであったが、学生の授業放棄、赤旗、青旗などをはためかしてのピケットラインを引いての大学構内への入場妨害、「学園を明るくする会」などとの「話し合い」、機動隊による学内強制捜査(昭和46年12月24日未明)などなど。

学部長会議も学内では開かれず、緊急・臨時学部長会議として、学外で開催されることがしばしばであった。当時、教授会は全学連合の教授だけの会であったが、学生問題・10月26日暴力事件についての「特別調査処理委員会報告書」を審議するために教授会規程第一条但書を適用して、助教授、講師を含めた教授会(これを拡大教授会と称した)が、楠元学舎の旧図書館の4階の大教室で開かれた。教授会規程では学長が教授会の議長を務めることになっているが、この初めての拡大教授会では、進行係・議長役を別におくこととされた。(井手教授と筆者がその役に選出された。)

この拡大教授会はその後も「学内近代化委員会規程」をめぐる何回も開催された(昭和43年12月17日、同44年1月9日、同44年1月17日、同44年1月24日、同44年2月3日、同44年3月26日など)が審議が深夜に及ぶことがしばしばであった。(拡大教授会=構成員は百数十名に及ぶわけであり、定足数は過半数・70数名必要なわけで、定数不足で流会することもあった。)
「近代化委員会規程」についての拡大教授会でも「進行係・議長役」をおくということは踏襲され、このときは、末高信、山田和麻呂、榊原悠紀田郎そして木村健助教授が選ばれた。(この教授会での木村先生の名議



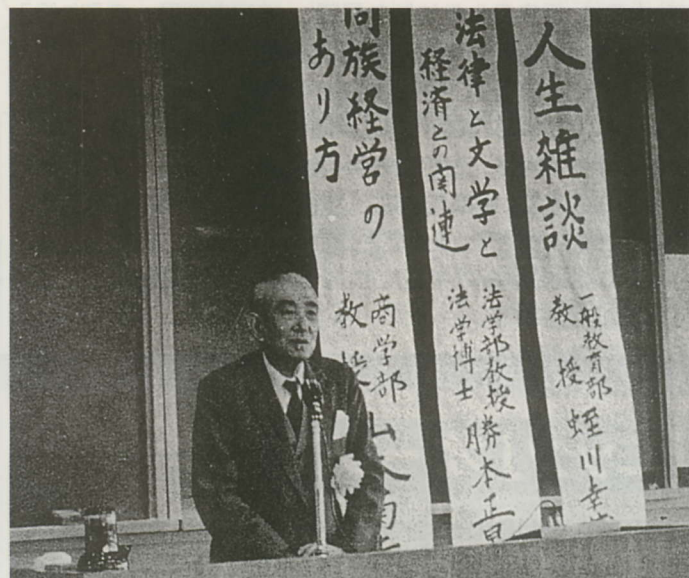
長振りについては、善家先生の最終講義「出遭い」のなかでも触れられているところである。）（本号に掲載されている写真は「第19回愛知学院大学祭実行委員会」が発行した大学祭のパンフレットの表紙である。）

筆者が、教務主任→学部長に任命された時代の社会情勢・学内事情は以上の如くであり、いわば「大学は大揺れに揺れ」ていた。（拙稿・その3で引用した横山教授書簡）これら諸々の事情による心労・ストレスで健康を害し、辞意を表明するにいたったが、竹田学長はなかなか受理してくれなかった。結局、任期途中で辞任が認められるわけであるがそのあとの残任期間は、教務主任が学部長事務取扱に就任した次第である。

この寄稿文も本号で（その5）を数えるにいたった。4年前、5回分位は資料があると言って寄稿を引き受けたが（その間に、年2回発行の同窓会報が年1回に変更になった）本号はその5回目にあたる。前号では、法学部設置50周年にあわせる為に時間的には少し前倒して記述したが、本号では前に戻して、当時の大学の内外の状況について記述した。約束の5回目であり、同窓会報の発行回数の変更なども考慮に入れて、本寄稿は本号をもって一応終了することになるが、最後に、時系列的記述とははなれるが、木村健助先生とともに、お世話になった勝本正見先生のこと、そしてまた、図書館との関係について触れてみたいと思う。

勝本先生

勝本先生が愛知学院大学に教授としてこられるようになった経緯については、先生ご自身が、愛知学院大学法学部同窓会編にかかる「同窓会20年の歩み」に「歲月流るるが如く」の一文のなかで述べられているところである。先生は高名な学者であり、筆者も先生の多数の著書・論文により、学生時代からその令名は存じあげていたが、直接お目にかかってお話をしたのは、先生が始めて本学にこられたとき、ご案内のため、名古屋駅にお迎えに行ったときのことである。立場上また役職上、遠方から来られる高齢の先生方を名古屋駅にお迎えに行くことは度々あったが、駅のホームでご本人の傍らを二度三度ゆきさしたりしたこともあった。勝本先生の場合は、乗車する列車の号車のみならず、上から下までの服装、手にする目印まで事前に知らせてくださるという念の入れよう、見間違ふことなど絶対にありえないほどであった。



（教養・商・法の三学会の共同主催の講演会）

昭和57年（1982）5月20日消印の先生からの葉書

前略 先般の称号授与についてはなにかと御高配を忝うしお礼申し上げます。……

五月二十日

勝本正見

先生に対する名誉教授の称号の授与が名古屋駅近くのホテルの一室で行われたがその席に列席することができた。その件についての筆者あての葉書である。

「出遭い」と題する最終講義の中で善家幸敏先生は大学院の名物教授の一人として勝本先生を挙げられているが、次のように述べられている。

「なお第三は談論風発、文人跣の風流心をおもちで、接する度毎ごとに学識経験の豊さに頭が下がり、一道に秀でたる者のみが醸し出す、えも言われぬ何かに誰しもが魅了されてしまう感のあった勝本正見教授（民法担当）、……」

「歲月流るるが如く」のなかにも、朱熹、李白、表牧の詩が随所に引用されているし、また、先生は、絵、特に、牡丹の絵を好んでおられたようである。牡丹の絵付けをされた状差を戴いた。

その箱書きには

「贈 芦川教授 牡丹図状差 皓川駄作」とされている。そして、

花 枝 欲 動

春 風 寒

巳未※※ 皓川

芦川雅兄恵存」

色紙もいただいた。

「以 愛 己 之 心 愛 人

以 責 人 之 心 責 己

書康熙帝十二※※

贈芦川兄

昭和庚申正月

於愛知学院大学

勝本正見」

状差も色紙も、筆者に対する戒めとして大事に所持している。

図書館と私

平成元年4月、図書館長に任命され、同7年3月まで6年間在任した。松本善隆、藤川俊道などなどの次長や事務長、職員御協力・御支援により大過なく任務をまっとうできたこと、感謝している。

就任当初は電算化時代の始まりともいべき時代、他大学でもコンピュータ化が進められていた。本学でも図書館商議員会などで磯村孝志教授など各部各科の専門家を中心にした電算化に取り組んだ時代であった。いわば今日の図書館情報センターの基礎を築く時代ともいえる。そのほか、司書講習40周年記念行事なども行われたが、なんといっても忘れられない仕事はいくつかの目録の発刊である。

①愛知学院大学・愛知学院短期大学 研究業績総覧

②小出文庫目録

③小野文庫目録

①、②、③の詳細については、それぞれの編集後記や序文の拙稿にゆずる。

大学教授の主たる任務は『研究と教育』であるといわれている。

我妻 栄「近代法における債権の優越的地位」の序文のなかで大学教授の任務について述べられている。その任務の遂行にとって、図書館はいうまでもなく、不可欠である。

楠元時代の図書館、中央図書館、日進学舎の中央図書館そして増築された今日の図書館情報センター。法学部増設以来絶えずお世話になってきた図書館。楠元時代に比べると隔世の感がある。図書館には大変お世話になり、特に商議員、図書館長になってからはその感が深い。感謝の気持ちを表すために蔵書を寄贈したいと前々から思っていた。退職1年前の2004年1月その旨、黒部通美館長に申し入れたところ心よく受け入れてくれた。2005年退職にあたり、足立祐輔さん指揮のもと、研究室から蔵書が搬出された。

数回に渡り芦川名誉教授に寄稿いただき、懐かしい名前や、知らなかった遍歴など、読ませていただきました。ありがとうございました。（出版部T）

博士(法学)学位取得への道のりと報恩感謝

法学部長 山野嘉朗



本年3月5日、前号(66号)の法学部同窓会会報(7頁)で紹介させていただいた拙著『保険契約と消費者保護の法理』(成文堂)に対して、早稲田大学より博士(法学)の学位が授与されました。これまで、多くの先生方から早く学位論文を完成させるよう、叱咤激励され続けてまいりましたので、正直、ほっとしております。これも、愛知学院大学の良き環境の下で思い切り研究させていただいた賜物と思います。わたくしの拙い授業に付き合ってくださった卒業生の皆様にも心より御礼申し上げます。

拙著(学位論文)は、学界から高い評価をいただいているばかりか、裁判官や弁護士の方々にも広く読まれているようですので、世に出した価値が多少はあったかもしれません。

学位論文の作成は困難を極めました。まさに「産みの苦しみ」の連続であり、途中で何度も投げ出したくなりました。現在の視点から見て、過去の論文の無駄な部分を切り捨て、誤植等を訂正する必要が生じましたし、最近の動向も踏まえ、新たに補完すべ

き部分がたくさん出てきました。訳語や外国文献の引用法の全体的統一の問題もありました。要するに、過去の諸論文は単なる素材に過ぎず、これを基に新しい世界を創造するという作業を強いられたわけです。音楽にたとえれば、過去に作曲した小曲群をベースに交響曲を作り出すようなものです。

拙著の「はしがき」の中でお世話になった方々への謝辞を記しましたが、報恩感謝の気持ちを表現できたことが何よりの幸せでした。この年になって、愛知学院大学の建学の精神が多少なりとも身につけてきたようです。

学部長の仕事に忙殺されて、2冊目の論文集『交通事故の補償法理』の作成作業が完全に中断しておりますが、来年3月末をもって任期が満了しましたら鋭意、作業を再開します。

今後とも、法学部の発展のため精進する所存ですので、同窓会の皆様には引き続きご支援をお願い申し上げる次第です。



服部朗教授に 早稲田大学から博士(法学)の学位授与

法学部服部朗教授に、平成19年9月26日付けで、早稲田大学から博士(法学)の学位が授与されました。服部先生は、昭和60年本学法学部に専任講師として着任、助教授を経て平成7年より教授。現在、宗教法制研究所長も務めています。

学位論文は、平成18年に1冊の本として出版された『少年法における司法福祉の展開』(成文堂)です。本書は、「司法」と「福祉」との交錯・統合という一貫した問題関心のもと、少年法が直面する課題にアプローチしています。本書は、まず、明治以降の歴史の中で少年法の現在を捉え、司法と福祉との分離傾向とその再統合の課題を指摘しています。そして、重大な非行にのみ関心が集中してしまっている現状に問題を投げかけ、軽微な非行を重大な非行にさせないために、虞犯の取扱い、簡易送致の運用、保護的措置の充実について考察しています。また、少年手続にお

ける適正手続保障についても検討し、成人の刑事手続の援用としてではなく、少年法の基本原理としてその意義を追求しています。そして、少年法および児童福祉法の改正問題をその社会背景を含めて取り上げ、詳しい内容の検討を行っています。その上で、本書は、将来の少年法制を展望し、被害者問題への取り組みの充実や、少年審判への市民参加を提案しています。

服部先生の著書は、司法と福祉との交錯・統合という問題関心に貫かれ、内外の文献を丹念に参照しつつ分析を行ったもので、今回の学位授与は、先生の長年にわたる少年法研究が高く評価されたものです。服部先生は、「今回の学位授与は、これまで私のことを暖かく見守ってくださった先生方と、いつも励ましをもらっている愛知学院の学生たち、そしてOBの皆さんのおかげです」と話しています。

「愛学リーガル・クリニック」オープン



平成20年10月1日に小出龍郎副学長・加島龍童学監・法務研究科長芹田健太郎教授の3人により、開所式のテープカットが行われました。

「愛学リーガル・クリニック」は、大学の地域社会貢献の一端を担い、法学分野の実務教育を支援するために設置された市民向けの法律相談所です。

会場 愛知学院大学 日進学舎 本部棟地下1階
費用 無料
相談内容 人権問題、民事問題、家事問題、刑事問題、労働問題
ジェンダー問題、外国人問題、少年問題、住民問題
予約 完全予約制

法学部同窓会主催 **無料** 法律相談会

平成20年2月23日に法律相談会を実施しました。

一般におこなわれている法律相談と違い、相談時間に制限をせず納得いくまで相談できたことと、相談される先生方の親身になっての対応が大変好評でした。

日 時 平成20年2月23日(土) 午前9時30分～正午(天候：くもり 強風)
会 場 日進市 中央福祉センター
相談件数 17件
相談内容 借地借家 1件 隣地境界 2件 離婚 2件
 遺産相続 6件 その他 6件 以上

また、平成21年2月にも開催を予定しています。詳細は法学部同窓会HPでご確認ください。



開放講座

各学部学科で開講している授業科目を一般社会人に開放し、興味や目的に合わせて、自由に受講できる講座です。興味ある科目、自分の得意分野の知識をさらに深めたい方。スキルアップをはかり、ビジネスシーンに活かしたい方へ。語学・文化・政治・経済・歴史など20以上のジャンル、約350の受講科目から自分にピッタリの講座を選択できます。

出願期間 平成21年2月頃の予定 ※年間(春・秋学期)を通じての一括申込み。
聴講料 1科目 10,000円(半期)
出願資格 高等学校を卒業した方、または愛知学院大学が同等以上の学力があると認めた方。

お問い合わせ

ハガキ：〒470-0195 日進市岩崎町阿良池12
 愛知学院大学 教務課「開放講座」係
 E-mail：agukyomu@dpc.agu.ac.jp
 F A X：0561-73-1445

利用者特典

- 学内施設の利用
- 図書館情報センター
- インターネット利用(※)
- スポーツセンターのジム・プール等の利用(※)
- 資格講座の受講(※)
- 坐禅会
- ※聴講料とは別に、登録料が必要となります。
- 徳川美術館 無料拝観

公開講座

5月から開講する春期講座と10月から開講する秋期講座があり、本学の教授がそれぞれ専門分野の立場から、時事性の高いテーマについて講義をします。

申込期間 平成21年4月上旬と8月下旬の2回の予定
募集人員 350名 年齢性別不問・申込多数の場合は抽選
受講料 3,000円(平成19年度)

お問い合わせ

ハガキ：〒470-0195 日進市岩崎町阿良池12
 愛知学院大学「公開講座」係
 E-mail：koukai-k@dpc.agu.ac.jp
 T E L：0561-73-1111(代)

利用者特典

- 受講者証を発行します
- 4回以上出席した方に修了証を発行します
- 下記の大学施設が利用できます
- 駐車場(自動車通行登録証を発行します。利用無料)
- 学院会館教職員食堂、学生食堂、坐禅堂(坐禅を組めるのは火曜参禅会のみ原則毎月第2火曜日午後5時から。詳しくはホームページ、または禅研究所にて確認してください。)
- 図書館情報センター(館内閲覧および館外貸出にはあらかじめ図書館情報センター1階インフォメーションカウンターにて「ライブラリーカード」交付の手続きが必要です。)

モーニングセミナー

本や人の話から知識を得て、それに創造と夢を抱いていたころが懐かしい。人の話を聞くことは人生を何倍にも大きく育ててくれる絶好のチャンスです。「偶然に聞いたお話が人生を変える…」まさにセレンディピティです。講演会を通じて聴衆者のお一人でも、このような経験をしてもらえたら何と素晴らしいことでしょう。「早起きは三文の徳」早起きして興味ある話を聞く…。このような考えからモーニングセミナーを企画しました。老若男女を問いませんので皆様の参加をお待ちしております。

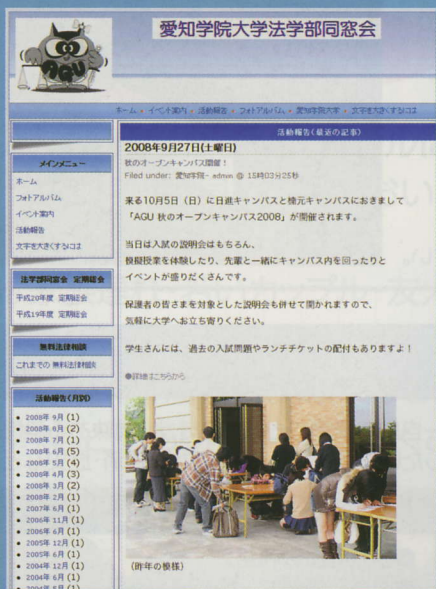
愛知学院大学 モーニングセミナー

※予約不要・会費無料

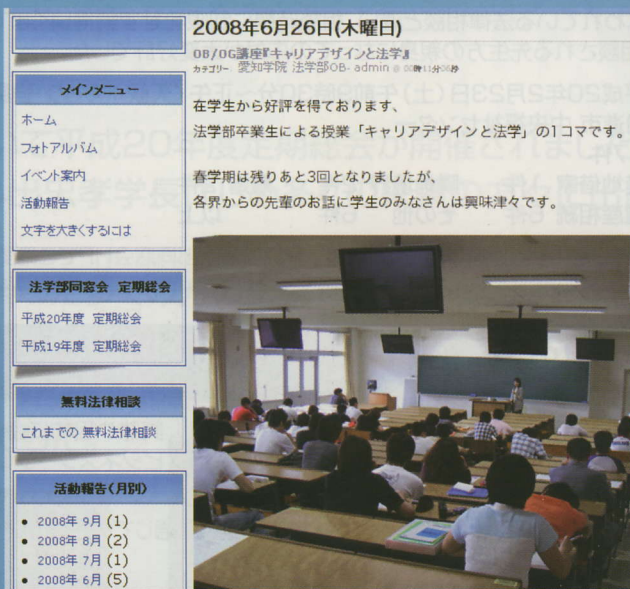
11月11日(火)	「印象 日の出の絵画」-モネはなぜ印象派の代表と呼ばれるのか?-	深谷 克典 課長	名古屋市美術館学芸課
12月9日(火)	「なぜ12月は歓喜の歌なのか?」-第九のなぞを探る-	田中 省三 教授	名古屋音楽大学
平成21年 1月13日(火)	「糖尿病は平均寿命を12年短縮する!?' -そもそも糖尿病とはどんな病気?-	松原 達昭 教授	愛知学院大学大学院 歯学研究科 内科学専攻
2月10日(火)	「後期(長寿)高齢者医療制度とはどんな制度なのか?' -我々が必ず経験する医療制度なのに…よくわからない?!…(仮題)	澤野 孝一郎 准教授	名古屋市立大学経済学部
3月10日(火)	「兄 城山三郎 と 私」-故城山三郎をしのんで-	林 董一 名誉教授	愛知学院大学

時 間 毎月第2火曜日 午前7:00～8:00 **会 場** 愛知学院大学歯学部(楠元学舎)110周年記念講堂 ※愛知学院大学HPより抜粋
受講料 無料 **連絡先** 愛知学院大学歯学部 モーニングセミナー係
電 話 052-751-2561(土、日、祝日を除く午前8時30分～午後6時まで・土曜は午前8時30分～午後1時)

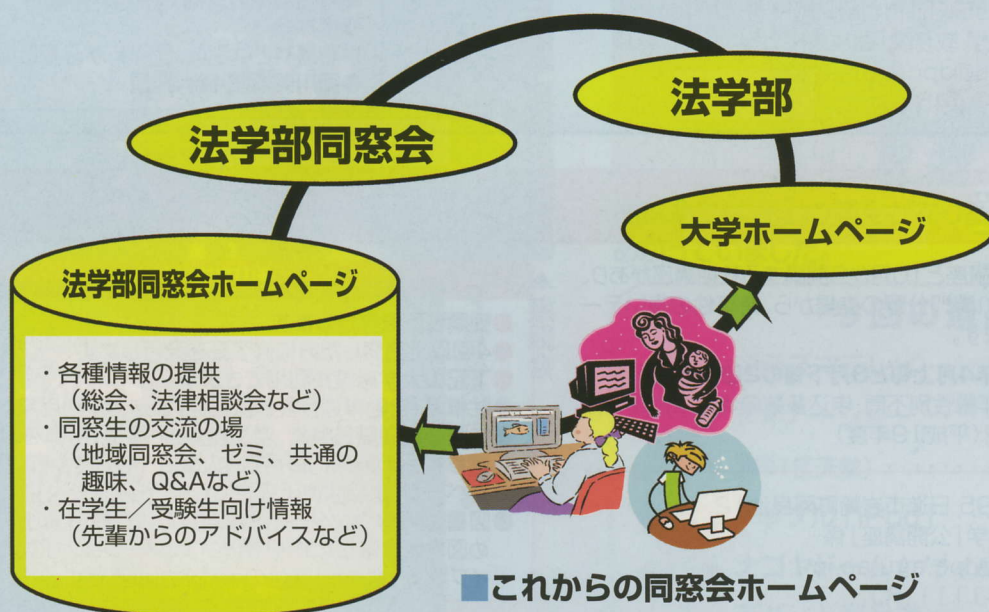
同窓会ホームページのご案内



トップページ



活動報告の1ページ



公開中の法学部同窓会ホームページでは、同窓会の活動報告やイベント情報、大学行事のお知らせやキャンパスの身近な話題まで掲載しています。

今年度は、春の第80回記念選抜高校野球大会で見事に優勝された沖縄尚学高校の比嘉公也(ひがこうや)監督(愛知学院大学法学部卒)の功績を称え、加藤会長自らが現地(沖縄尚学高校)にて表彰状を手渡した際の様子など、同窓会ならではのトピックも見るができます。

是非、ホームページもご覧ください!!

● 愛知学院大学法学部同窓会ホームページ
<http://www.agu-houdoso.org/>

または、 愛知学院大学法学部同窓会 で **検索**

愛知学院大学法学部同窓会会報

Vol.67 2008.10.15

愛知学院大学法学部同窓会

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12

TEL:0561-73-1111(内線2303)

FAX:0561-74-1410

<http://www.agu-houdoso.org/>